



講師の高橋さん指導の下、手話を練習する児童ら

### 児童が点字と手話学ぶ 冬休み子ども福祉教室

町主催の冬休み子ども福祉教室は1月7日、保健センターで行われ、葛巻学童クラブの児童ら31人が参加し、視聴覚障がいについての知識と理解を深めました。

「点字」と「手話」の二つの教室が行われ、県立視聴覚障がい者情報センター（盛岡市）点字構成員の佐賀善司さんと手話通訳支援員の高橋由紀代さんが講師を務めました。点字教室では実際に指で触って読んだり、点字器を使い点字を打つ体験を行ったほか、手話教室では50音や数字、身近な単語を手話で表現する方法を学びました。

鍋倉永憲君（葛巻小6年）は「手話を学ぶのは初めて。学んだことを今後役立てていきたい」と笑顔を見せました。

### 友情の輪広げた14日間 スノーワンダーランド

第15回くずまき高原牧場スノーワンダーランドは1月5日から18日までの14日間、同牧場を主会場に行われ、参加した県内外の児童26人は、酪農体験やホームステイ、イグルー作りなど葛巻ならではの多彩なプログラムに取り組み、友情の輪を広げました。

葛巻が好きで5年連続参加しているという双子の兄弟の関清泰君（花巻市立南城小5年）と知諒君（同）は「ここでしかできない貴重な体験が魅力。新しい友達も増えた。中学生になっても参加したいし、葛巻高校への山村留学も考えています。将来はくずまき高原牧場で働きたい」と目を輝かせていました。



3日間かけて完成したイグルーに大喜びの子どもたち（このイグルーに2泊しました）

### 葛葉荘でそば打ち教室 森のそば屋が実演指導

森のそば屋を運営する高家領水車母さんの会（高家章子代表）は12月25日、養護老人ホーム葛葉荘（堀口裕之院長、入所者51人）を訪れ、そば打ちの実演指導を行いました。

同会による葛葉荘での実演指導は今回で10年目。葛葉荘の年末の恒例行事として定着し、入所者は達人の手ほどきを受けそば打ちに励みました。完成したそばは昼食時間に入所者全員に提供され、打ち立ての味や香り、のどごしを楽しみました。

若いころからそば打ちをしてきたという中代コメさん（92）は「1年ぶりのそば打ちに少し苦戦したけど上手にできた」と満面の笑顔を見せました。



「若いころはたくさんのそばを打ったもんだ」と昔を懐かしみながらそば打ちに励む入所者の皆さん



演劇とダンスと織り交ぜた伸び伸びとした演技が観客を魅了した特別公演

### 舞スマと盛岡市立高校 合同公演で観客を魅了

舞スマイルダンス教室（越田名緒実代表、会員17人）と盛岡市立高校演劇部の特別公演は1月11日、総合センターで開催され、演劇とダンスを織り交ぜた表現力豊かなステージが約230人の観客を魅了しました。

同教室の元メンバーの本宮佳央理さん（同校2年）が演劇部に所属していることが縁で今回の公演が実現。2部構成による第1部は同教室が「スノーホワイト」を、第2部は同校演劇部が「リトルセブンの冒険」を上演。伸び伸びとした演技とシーンに合った音響や照明を加えた約2時間の公演は最後まで観客の目を引き付けました。本宮さんは「会場の皆さんの温かさに胸がいっぱい」と感謝しました。

### 森林環境と金融を学ぶ セミナーに児童ら参加

㈱岩手銀行主催の森林環境学習と金融教育セミナーは1月13日、薪の学校（旧田野小）で行われ、葛巻地区森林愛護少年団の児童ら13人が参加しました。

森林環境学習では、町森林組合理事兼参事の竹川高行さんを講師に、木材の循環利用の大切さを学んだほか、3種類の機械を使い薪割りを体験。岩手銀行職員が講師を務めた金融教育セミナーでは、1億円の模型を使いお金の大切さを学び、融資業務など銀行の役割について理解を深めました。

村井悠真君（小屋瀬小6年）は「森林やお金のことについて詳しく知ることができた。今後、自分たちができる自然環境保護活動をしていきたい」と力を込めました。



忠実に再現した1億円の模型を持ち上げその重さを体験する児童⑤ 機械を使った薪割りを体験する児童

### 人口減対策のアイデア 小屋瀬中生が町に提案

小屋瀬中学校（吉田覚校長、生徒22人）の3年生7人は1月9日、町長室を訪れ、生徒自身が考えた町の人口減少対策を鈴木重男町長に提案しました。

生徒から「大学や大きな老人施設を建てる」「学校の教材費や給食費を無料化する」「葛巻高校に農業学科を新設する」「葛巻病院を総合病院にする」「ブランド牛を育てる」「町外に出ていく人からお金を徴収する」「くずまきテレビを全国放送する」など多彩なアイデアが出されました。

鈴木町長は「相当の調査や勉強をした素晴らしい提案で、どれも実現の可能性があり効果を見込める内容である。今後の取り組みの参考にさせていただきます」と感謝しました。



町の人口減少対策について鈴木町長と対話する小屋瀬中の生徒